病床確保計画（確保病床に位置付けられた臨時の医療施設・入院待機施設の定員数を含む）

令和4年3月11日公表

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）において想定する１日当たり最大新規感染者数（概数）	病床確保計画（一般フェーズ）において想定する１日当たり最大療養者数（概数）	フェーズ１		フェーズ２			フェーズ３			フェーズ４			フェーズ５			フェーズ６			病床確保計画（緊急フェーズ）（※1）											
			即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	病床確保計画（緊急フェーズ）において想定する１日当たり最大新規感染者数（概数）	病床確保計画（緊急フェーズ）において想定する１日当たり最大療養者数（概数）	緊急フェーズⅠ 移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	緊急フェーズⅡ 移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	緊急フェーズⅢ 移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け
			うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分				うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分		うち臨時の医療施設等分	うち臨時の医療施設等分
01 北海道	1,207	9,685	1,274	87	フェーズ１の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	1,587	102	フェーズ２の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	2,075	134										1,207	9,685	フェーズ３の確保病床数の60～80%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	2,261	134							
			0	0		0	0		0	0													186	0							
02 青森県	139	1,131	371	31	感染者の漸増 1週間当たりの新規陽性者21人以上	371	31	感染者の急増 1週間当たりの新規陽性者71人以上 療養者数101人以上	383	31	爆発的な感染拡大 3週間後の病床使用率が50%以上	383	31	爆発的な感染拡大 1週間当たりの新規陽性者701人以上 療養者数1001人以上 病床使用率50%以上	405	31				139	1,131	病床使用率70%超	405	31							
			0	0		0	0		0	0		0	0		0	0							0	0							
03 岩手県	86	574	203	29	確保病床の使用率が20%を超える日が、数日続いた日の翌日	301	31													86	574	確保病床の使用率が50%を超えた日の翌日	402	33							
			0	0		0	0																0	0							
04 宮城県	360	2,772	201	15	フェーズ１の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	227	18	フェーズ２の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	265	20	フェーズ３の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	322	26	フェーズ４の病床占有率が５０％を超えた段階で、病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	392	45				360	2,772	病院長等会議を緊急に開催の上、総合的に判断	511	55							
			0	0		0	0		0	0		0	0		0	0							0	0							
05 秋田県	72	438	45	1	県内感染者１名発生	109	6	週当たり新規感染者数７人／フェーズ２病床の３０％	129	10	週当たり新規感染者数25人／フェーズ３病床の３０％	158	12	週当たり新規感染者数50人／フェーズ４病床の３０％	229	15	週当たり新規感染者数100人／フェーズ５病床の３０％	289	24	72	438	１日当たりの新規感染者が72人を超え、医療がひっ迫した状態となった時	289	24							
			0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0				0	0							
06 山形県	98	653	18	0	・二次医療圏において、患者が１名以上発生した場合。 ・県内で感染経路不明の患者が２名以上発生した場合。	112	20	・患者が増加し、感染症指定医療機関のみでは対応が困難となることが想定される場合	158	26	・患者が増加し、感染症指定医療機関とそれを支援する医療機関での受入調整が困難となることが想定される場合。	237	26							98	653	患者が急増し、フェーズ４対応医療機関の病床での受入調整ができないほど病床が逼迫することが想定される場合	252	26	患者が急増し、中等症以上の入院が必要な患者を受入調整できないほど病床が逼迫することが想定される場合	282	26				
			0	0		0	0		0	0		0	0										0	0		30	0				
07 福島県	138	1,000	592	29	週当たり新規感染者数2.5人／10万人となった日	668	40	週当たり新規感染者数5人／10万人となった日	751	47										257	1,700	週当たり新規感染者数15人／10万人となった日	835	49							
			0	0		0	0		8	0													8	0							
08 茨城県	170	1,343	300	30	現フェーズの１／３の病床稼働率を目安	410	30	現フェーズの１／３の病床稼働率を目安	500	40	現フェーズの１／３の病床稼働率を目安	600	70							319	2,522	現フェーズの１／３の病床稼働率を目安	877	80							
			21	0		21	0		21	0		21	0										61	0							
09 栃木県	339	2,070	360	22	病床使用率が20%以上になった日	538	32	病床使用率が50%以上になった日	638	46										339	2,070	病床使用率が50%以上になった日	638	46							
			0	0		100	0		100	0													100	0							
10 群馬県	367	2,856	224	13	入院患者数100～150人となった日	363	21	入院患者数150～200人となった日	501	27	入院患者数250～300人以上となった日	568	37							367	2,856	入院患者数250～300人以上となった日	568	37							
			0	0		0	0		0	0		0	0										0	0							
11 埼玉県	425	4,250	500	50	病床使用率が50%以上となった２週間後	900	90	病床使用率が50%以上となった２週間後	1,300	130	病床使用率が50%以上となった２週間後	1,700	170							2,338	22,815	病床使用率が50%以上となった２週間後	2,202	239							
			0	0		0	0		0	0		0	0										130	0							
12 千葉県	400	4,000	984	78	国のレベルⅡ相当	1,776	124													1,800	14,200	国のレベルⅢ相当	1,856	179							
			0	0		232	0																232	0							
13 東京都（※3）	4,923	46,616	4,000	300	新規陽性者500人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が２週間継続	5,000	350	新規陽性者700人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が２週間継続	7,229	510										4,923	46,616	新規陽性者700人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が２週間継続	7,229	510							
			0	0		0	0		230	0													230	0							
14 神奈川県	1,800	12,000	1,000	100	フェーズ１の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	1,300	130	フェーズ２の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	1,700	160	フェーズ３の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	2,100	210							2,878	18,438	フェーズ４の確保病床の85%を超えることが想定される３週間前の日	2,500	270							
			39	0		78	0		109	0		143	0										180	0							
15 新潟県	191	1,523	376	50	県警報発令から移行 人口10万人あたり10人以上／週発生（公表日ベース）かつ 感染経路不明割合30%以上	456	99	県さらなる警報発令から移行 人口10万人あたり25人以上／週発生（公表日ベース）かつ 感染経路不明割合30%以上	577	112	緊急事態宣言発令相当	664	112							191	1,523	緊急事態宣言発令相当	664	112							
			0	0		0	0		0	0		0	0										0	0							
16 富山県	80	532	111	12	入院者数がおおよそ50人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	230	14	入院者数がおおよそ100人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	481	36										172	1,443	入院者数がおおよそ300人以上となった日から7日後 （人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	571	36							
			0	0		0	0		0	0													0	0							
17 石川県	40	257	172	32	フェーズ１の病床使用率が50%を超えた場合	254	33	フェーズ２の病床使用率が50%を超えた場合	308	37										120	1,221	フェーズ３の病床使用率が50%を超えた場合	410	37	緊急フェーズⅠの病床使用率が50%を超えた場合	494	41				
			0	0		0	0		0	0													0	0		0	0				
18 福井県	54	373	95	4	入院患者が45人に達した日から概ね5日以内	145	10	入院患者が70人に達した日から概ね5日以内	195	20	入院患者が120人に達した日から概ね3日以内	251	22	入院患者が160人に達した日から概ね3日以内	441	24				109	627	入院患者が160人に達した日から概ね3日以内	441	24							
			0	0		0	0		0	0		0	0		100	0							100	0							
19 山梨県	150	1,046	102	7	入院患者数30名以上	165	13	入院患者数60名以上	225	19	入院患者数120名以上	338	24	入院患者数180名以上	389	24				150	1,046	入院患者数180名以上	389	24							
			0	0		0	0		0	0		0	0		0	0							0	0							
20 長野県	226	1,583	156	30	・県内４ブロックのうち、１つでもブロック別確保病床使用率が10%を超えると見込まれるとき	347	34	・全県の確保病床使用率が25%を超え、かつブロック別確保病床使用率が３つ以上のブロックで40%を超えると見込まれるとき ・医療非常事態宣言が発出されたとき	513	43										226	1,583	確保病床使用率が全県で50%を超える恐れがあるとき	535	43	確保病床使用率が全県で70%を超える恐れがあるとき	653	43				
			0	0		0	0		0	0													0	0		0	0				
21 岐阜県	384	2,861	323	53	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	465	55	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	718	59	即応病床に対する病床使用率が３０％を超えた場合	894	59							384	2,861	「一般フェーズ4」において、短期間で急激な感染者数が増加し、受入病床が逼迫することで、入院が必要な方がただちに入院できない状況となった場合	934	59							
			0	0		0	0		0	0		0	0										40	0							
22 静岡県	680	5,500	410	40	病床占有率15%以上、新規感染者数7.5人/週/人口10万人以上、予測ツールで3週間後の必要病床数が50%超	512	56	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	616	59										680	5,500	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	616	59							
			0	0		0	0		0	0													0	0							
23 愛知県	530	8,330	1,141	134	感染拡大時：単日の入院患者４５６人以上 感染縮小時：７日間平均の入院患者８３３人未満	1,666	172													2,339	22,083	感染拡大時：単日の入院患者８３３人以上 感染縮小時：７日間平均の入院患者１，１３２人未満	1,888	183	感染拡大時：単日の入院患者１，１３２人以上	2,534	230				
			0	0		0	0																0	0		429	0				
24 三重県	100	600	245	41	フェーズ１の病床占有率が30%を超えた日から14日後	290	45	フェーズ２の病床占有率が30%を超えた日から14日後	457	50										515	3,170	フェーズ３の病床占有率が30%を超えた日から14日後	467	50	次のうち2つ以上に該当した日から14日後 ・新規感染者数（直近１週）が15人以上/人口10万人以上 ・病床占有率30%以上 ・重症病床占有率20%以上	551	56	次のうち2つに該当した日から14日後 ・病床占有率30%以上 ・重症病床占有率20%以上	583	56
			0	0		0	0		0	0													10	0		10	0		42	0
25 滋賀県	90	750	168	30	フェーズ１の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	241	44	フェーズ２の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	321	49	フェーズ３の病床数の30%程度が利用された段階で総合的に判断	399	49							460	3,550	日々のモニタリングの結果、2週間後に一日当たりの新規陽性患者数が90人を超えることが予測される場合等。	503	52							
			0	0		0	0		0	0		0	0										30	0							

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）において想定する1日当たり最大新規感染者数（概数）	病床確保計画（一般フェーズ）において想定する1日当たり最大療養者数（概数）	フェーズ1 即応病床（計画）数	フェーズ1 うち重症者向け	フェーズ1 うち臨時の医療施設等分	フェーズ1 うち臨時の医療施設等分	フェーズ2 移行基準	フェーズ2 即応病床（計画）数	フェーズ2 うち重症者向け	フェーズ2 うち臨時の医療施設等分	フェーズ2 うち臨時の医療施設等分	フェーズ3 移行基準	フェーズ3 即応病床（計画）数	フェーズ3 うち重症者向け	フェーズ3 うち臨時の医療施設等分	フェーズ3 うち臨時の医療施設等分	フェーズ4 移行基準	フェーズ4 即応病床（計画）数	フェーズ4 うち重症者向け	フェーズ4 うち臨時の医療施設等分	フェーズ4 うち臨時の医療施設等分	フェーズ5 移行基準	フェーズ5 即応病床（計画）数	フェーズ5 うち重症者向け	フェーズ5 うち臨時の医療施設等分	フェーズ5 うち臨時の医療施設等分	フェーズ6 移行基準	フェーズ6 即応病床（計画）数	フェーズ6 うち重症者向け	フェーズ6 うち臨時の医療施設等分	フェーズ6 うち臨時の医療施設等分
26 京都府	679	5,990	725	152	30	0	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	924	171	110	0																			
27 大阪府（※4）	3,833	39,702	1,470	170	0	0	重症：およそ100人以上（フェーズ１の病床数170床の60%） 軽症中等症：およそ780人以上（フェーズ１の病床数1,300床病床数の60%）	2,290	240	0	0	重症：およそ168人以上（フェーズ２の病床数240床の70%） 軽症中等症：およそ1,435人以上（フェーズ２の病床数2,050床の70%）	2,730	330	0	0	重症：およそ231人以上（フェーズ３の病床数330床の70%） 軽症中等症：およそ1,680人以上（フェーズ３の病床数2,400床の70%）	3,120	420	0	0	重症：およそ294人以上（フェーズ４の病床数420床の70%） 軽症中等症：およそ1,890人以上（フェーズ４の病床数2,700床の70%）	3,710	610	0	0					
28 兵庫県	1,088	7,897	300	30	0	0	新規陽性者1週間平均20人以上または病床利用率10%以上	600	60	0	0	新規陽性者1週間平均80人以上または病床利用率20%以上	1,000	100	0	0	新規陽性者1週間平均400人以上または病床利用率50%以上	1,200	120	0	0	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,529	142	0	0					
29 奈良県	227	1,734	今後の感染状況を踏まえて、決定	今後の感染状況を踏まえて、決定	0	0	上り：病床使用率50%を１つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	392	32	0	0	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	514	34	0	0															
30 和歌山県	104	777	167	17	0	0	国内外の状況を総合的に判断	470	26	0	0	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	630	40	0	0															
31 鳥取県	47	325	144	19	0	0	入院患者数がフェーズ１の即応病床数の4割に達する日	239	30	0	0	入院患者数がフェーズ２の即応病床数の4割に達する日	350	47	5	0															
32 島根県	45	450	129	5	0	0	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	160	10	0	0	入院患者総数が50人となった日	214	16	0	0	入院患者総数が100人となった日	264	25	0	0	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	368	28	0	0					
33 岡山県	307	1,893	207	27	0	0	直近１週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	400	37	0	0	稼働病床が100床を超えたとき	500	51	0	0	稼働病床が200床を超えたとき	554	68	0	0									
34 広島県	111	903	348	32	0	0	新規感染者が継続的に発生	424	35	0	0	直近７日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	525	39	0	0	直近７日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	597	46	0	0									
35 山口県	206	1,400	136	8	0	0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	227	12	0	0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	462	23	0	0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	591	47	0	0									
36 徳島県	77	605	118	6	0	0	入院患者数が20人となった日	142	6	0	0	入院患者数が70人となった日	175	16	0	0	入院患者数が120人となった日	234	25	0	0	入院患者数が180人となった日	263	25	22	0					
37 香川県	111	867	152	17	0	0	入院患者がフェーズ１の病床数の３分の１を超える	191	21	0	0	入院患者がフェーズ２の病床数の２分の１を超える	266	30	0	0															
38 愛媛県	90	655	140	6	0	0	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（27人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	174	10	0	0	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（54人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	270	19	0	0															
39 高知県	60	500	88	16	0	0	ﾌｪｰｽﾞ １の病床数の10%が利用された段階	164	16	0	0	ﾌｪｰｽﾞ ２の病床数の20%が利用された段階	200	16	0	0	ﾌｪｰｽﾞ ３の病床数の35%が利用された段階	251	24	0	0	ﾌｪｰｽﾞ ４の病床数の45%が利用された段階	262	24	0	0					
40 福岡県	1,253	11,563	355	77	0	0	入院者数100人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	543	91	0	0	入院者数160人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	785	106	0	0	入院者数240人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,313	184	0	0	入院者数660人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,626	206	0	0					
41 佐賀県	182	1,322	135	3	0	0	入院患者数が25人となったとき	217	8	0	0	入院患者数が50人となったとき	360	14	10	0	入院患者数が90人となったとき	546	42	50	0	入院患者数が130人となったとき	560	48	50	0					
42 長崎県	137	983	82	21	0	0	即応病床の3分の1以上使用	148	21	0	0	即応病床の2分の1以上使用	285	21	0	0	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上を使用	447	36	0	0									
43 熊本県	300	2,337	570	49	0	0	以下のいずれかに該当した場合 ① 即応病床使用率が２５％を上回る状況が続く場合 ② その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	689	53	0	0																					
44 大分県	523	3,046	361	34	0	0	・重症者用病床使用率10%以上・病床使用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	408	34	0	0	・重症者用病床使用率20%以上・病床使用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	417	34	0	0	・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	508	43	0	0									
45 宮崎県	221	1,724	235	12	0	0	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	289	15	0	0																			
46 鹿児島県	199	1,679	45	1	0	0	フェーズ１の即応病床に対する３日間の病床使用率が ３０％以上に達した場合	292	6	0	0	フェーズ２の即応病床に対する３日間の病床使用率が ４０％以上に達した場合	426	11	0	0	フェーズ３の即応病床に対する３日間の病床使用率が ５０％以上に達した場合	563	33	0	0									
47 沖縄県	262	1,656	125	16	0	0	入院患者が10人を超えたとき	185	19	0	0	入院患者が23人を超えたとき	279	30	0	0	入院患者が150人を超えたとき	458	49	0	0	入院患者が200人を超えたとき	628	60	0	0					

病床確保計画（緊急フェーズ）（※1）															
病床確保計画（緊急フェーズ）において想定する1日当たり最大新規感染者数（概数）	病床確保計画（緊急フェーズ）において想定する1日当たり最大療養数（概数）	緊急フェーズⅠ 移行基準	緊急フェーズⅠ 即応病床（計画）数	緊急フェーズⅠ うち重症者向け	緊急フェーズⅠ うち臨時の医療施設等分	緊急フェーズⅠ うち臨時の医療施設等分	緊急フェーズⅡ 移行基準	緊急フェーズⅡ 即応病床（計画）数	緊急フェーズⅡ うち重症者向け	緊急フェーズⅡ うち臨時の医療施設等分	緊急フェーズⅡ うち臨時の医療施設等分	緊急フェーズⅢ 移行基準	緊急フェーズⅢ 即応病床（計画）数	緊急フェーズⅢ うち重症者向け	緊急フェーズⅢ うち臨時の医療施設等分	緊急フェーズⅢ うち臨時の医療施設等分
679	5,990	－	924	171	110	0									
3,833	39,702	重症：およそ294人以上（フェーズ４の病床数420床の70%） 軽症中等症：およそ1,890人以上（フェーズ４の病床数2,700床の70%）	3,710	610	0	0									
1,088	7,897	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,529	142	0	0									
227	1,734	感染者が増え、救急搬送の受入先が見つからないような状況が発生した時	514	34	0	0									
104	777	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	630	40	0	0									
47	325	感染状況を総合的に判断して対応	350	47	5	0									
45	450	入院患者総数が100人を超え一般フェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	368	28	0	0									
307	1,893	稼働病床が200床を超えたとき	554	68	0	0									
358	3,091	直近７日間の10万人当たり新規感染者数25人以上	820	58	56	0	直近７日間の10万人当たり新規感染者数50人以上	966	62	106	0				
206	1400	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	691	47	0	0									
77	605	入院患者数が180人となった日	263	25	22	0									
111	867	入院患者がフェーズ３の病床数の２分の１を超える	291	30	20	0									
153	1,110	入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の50%（135人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	323	26	10	0									
127	851	ﾌｪｰｽﾞ 5の病床数の60%が利用された段階	310	58	0	0									
1,253	11,563	–	1,626	206	0	0									
182	1,322	入院患者数が130人となったとき	560	48	50	0									
170	1,220	新規感染者数の7日間移動平均が33人を超えたとき	516	40	0	0	総合的に判断	568	40	0	0				
300	2,337	即応＋準備病床使用率が６０％を上回る状況が続く場合	798	68	0	0	即応＋準備病床＋緊急時確保病床使用率が７０％を上回る状況が続く場合	825	68	0	0				
523	3,046	・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	508	43	0	0									
221	1,724	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	356	15	0	0									
251	2,119	フェーズ４の病床使用率が６０％以上に達した場合	657	37	0	0	緊急フェーズⅠの病床使用率が７０％以上に達した場合	720	38	0	0				
809	6,744	入院患者が500人を超えたとき	774	65	0	0	入院患者が630人を超えたとき	859	68	0	0	入院患者が720人を超えたとき	920	73	0

全国計（※2）	23,111	200,751	病床確保計画（一般フェーズ）	確保病床（計画）数	42,027	確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	1,021	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	3,995	確保病床（計画）数（うち重症者向け）（うち臨時の医療施設等分）	0	病床確保計画（緊急フェーズ）	31,600	267,844	最大確保病床（計画）数	46,375	最大確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）	2,121	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,340	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）（うち臨時の医療施設等分）	0

（※1）病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づく計画を指す。

（※2）「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等分）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

（※3）東京都の重症者向け病床数は東京都基準（人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,468床となる
（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,953床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保予定病床数は全国合計で5,298 床となる）。

（※4）大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したもの。